

## **AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera**

**ユーザーマニュアル**

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 目次

---

製品の概要	3
製品のアクセス方法	4
ブラウザから本製品へのアクセス方法	4
安全なパスワードについて	4
設定	6
製品Webページの概要	6
画質	8
オーバーレイ	10
PTZ (パン、チルト、ズーム)	11
ストリーミングとストレージ	11
イベント	13
アプリケーション	16
トラブルシューティング	17
工場出荷時の設定にリセットする方法	17
現在のファームウェアの確認方法	17
ファームウェアのアップグレード方法	17
技術的な問題、ヒント、解決策	18
パフォーマンスに関する一般的な検討事項	20
仕様	21
LEDインジケータ	21
SDカードスロット	21
ボタン	21
コネクタ	22

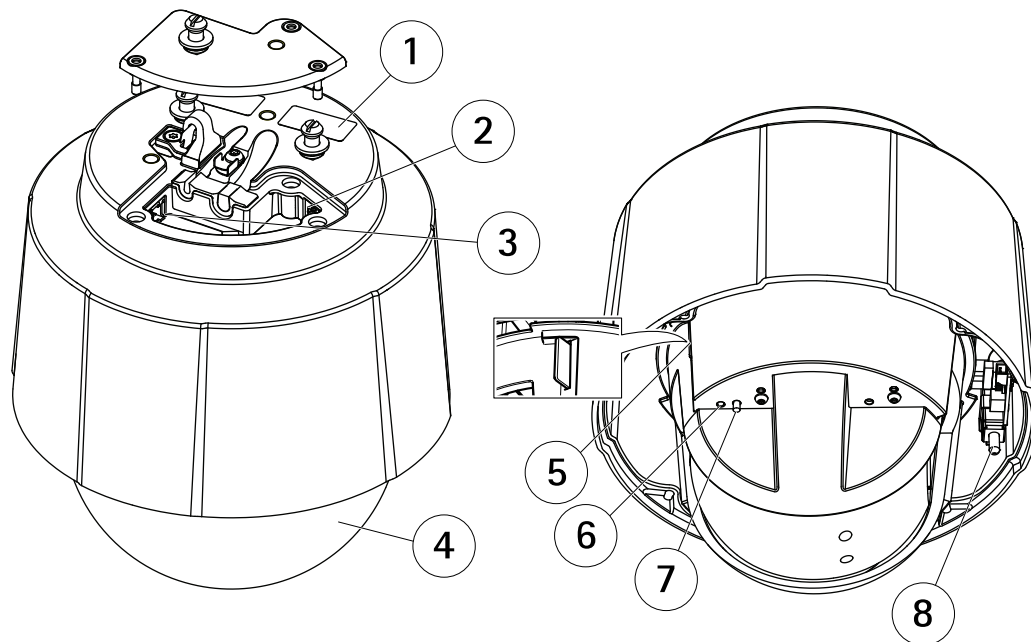
# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 製品の概要

### 製品の概要

#### 注記

ドームは動作モードで取り付けてください。そうしないとフォーカスに影響する場合があります。



- 1 型番 (P/N) とシリアル番号 (S/N)
- 2 ネットワークコネクタ (PoE+)
- 3 マルチコネクタ
- 4 ドーム
- 5 SDカードスロット
- 6 ステータスLEDインジケータ
- 7 コントロールボタン
- 8 電源ボタン

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 製品のアクセス方法

---

### 製品のアクセス方法

ネットワーク上でAxis製品を検索したり、Windows®でAxis製品にIPアドレスを割り当てたりするには、AXIS IP Utility またはAXIS Device Managerの使用をお勧めします。いずれのアプリケーションも無料で、[axis.com/support](https://axis.com/support)からダウンロードできます。

製品は次のブラウザで使用できます。

- Windows®: Chrome™ (推奨)、Firefox®、Edge®、またはOpera®
- OS X®: Chrome™ (推奨)、またはSafari®
- その他のオペレーティングシステム: Chrome™またはFirefox®

推奨されるブラウザの詳細な情報については、[axis.com/browser-support](https://axis.com/browser-support)にアクセスしてください

### ブラウザから本製品へのアクセス方法

1. Webブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスフィールドに、本製品のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

Macコンピューター (OS X) から本製品にアクセスするには、SafariでBonjourをクリックし、ドロップダウンリストから本製品を選択します。Bonjourをブラウザのブックマークとして追加するには、[Safari > Preferences (Safari > 設定)] に移動します。

本製品のIPアドレスが不明な場合には、AXIS IP Utilityを使用して、ネットワーク上で本製品を特定します。IPアドレスの検出や割り当てを行う方法については、製品ページ ([axis.com](https://axis.com)) にあるドキュメント『IPアドレスを割り当ててデバイスにアクセスする方法』を参照してください。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。初めて本製品にアクセスする場合は、最初にルートパスワードを設定する必要があります。
4. ブラウザで製品のライブビューページが開きます。

### 安全なパスワードについて

#### 重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストーラーで使えるようにするためパスワードポリシーを強制しません。データを保護するために、次のことをお勧めします。

- デバイスに付属するデフォルトのパスワードを変更する。
- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

### rootアカウントの安全なパスワードを設定する

#### 重要

デフォルトの管理者ユーザー名はrootです。rootのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットしてください。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 製品のアクセス方法

---

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。4 ページの安全なパスワードについてを参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。
3. **[Create login (ログインの作成)]** をクリックします。これでパスワードが設定されました。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

---

### 設定

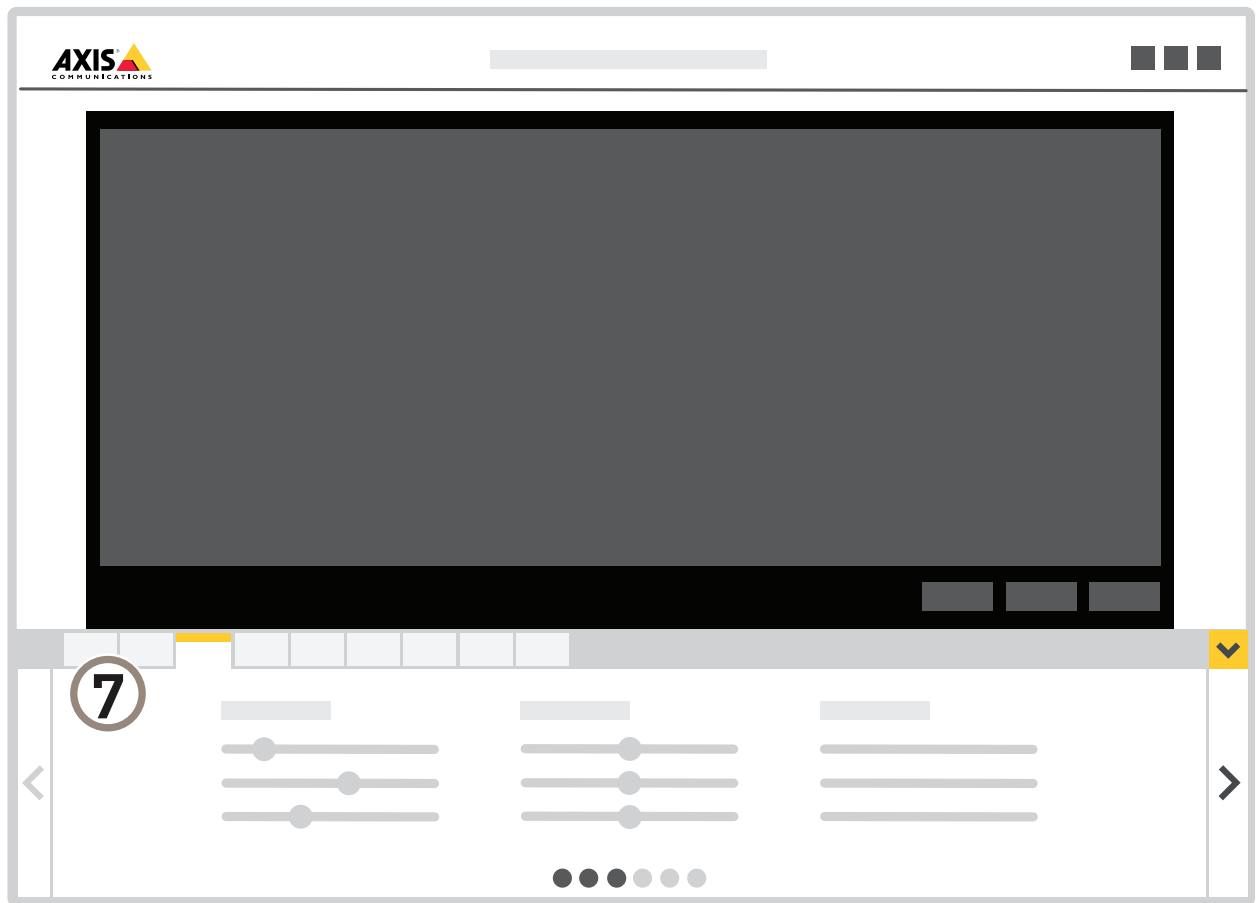
### 製品Webページの概要



- 1 ライブビューコントロールバー
- 2 ライブビュー
- 3 製品名
- 4 コントロール
- 5 ビデオコントロールバー
- 6 設定トグル

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

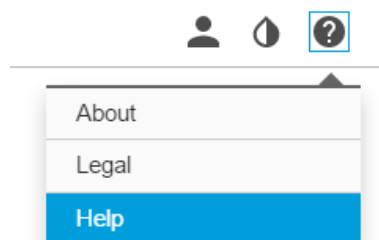
## 設定



7 設定タブ

### 本製品に内蔵されているヘルプについて

製品のWebページから内蔵のヘルプにアクセスできます。このヘルプでは、製品の機能やその設定に関する詳細情報を提供しています。



# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

### 画質

#### フォーカスリコールエリアを使用してフォーカス設定を高速化する方法

特定のパン/チルト範囲でのフォーカス設定を保存するには、フォーカスリコールエリアを追加します。カメラはそのエリアに移動するたびに、以前に保存したフォーカスをリコールします。ライブビュー内のフォーカスリコールエリアの半分だけでも十分です。


フォーカスリコール機能は、次のシナリオで使用することをお勧めします。

- ・ ライブビューでジョイスティックなど手動の操作が多い場合。
- ・ フォーカス設定が常に変わる動作など、手動フォーカスのPTZプリセット位置が効率的でない場合。
- ・ 照明環境によりオートフォーカスが難しいような低照度のシナリオ。


#### 重要

- ・ フォーカスリコールは、指定したパン/チルト範囲でカメラのオートフォーカス設定をオーバーライドします。
- ・ プリセット位置は、フォーカスリコールエリアで保存したフォーカス設定をオーバーライドします。
- ・ フォーカスリコールエリアの最大数は20です。

#### フォーカスリコールエリアの追加方法

1. フォーカスするエリアにパン、チルト、ズームします。
2. フォーカスを設定するには、オートフォーカスを使用するか、手動で調整します。[フォーカスリコール] ボタンにプラスが表示されていれば、その位置にフォーカスリコールエリアを追加できます。
3. [フォーカスリコール] ボタンをクリックします。

#### フォーカスリコールエリアの削除方法

1. 削除するフォーカスリコールエリアにパン、チルト、ズームします。フォーカスリコールエリアが検出されると、[フォーカスリコール] ボタンがマイナスに切り替わります。
2. [フォーカスリコール] ボタンをクリックします。

#### 露出モードの選択方法

特定の監視シーンの画質を向上させるために、開口、シャッター速度、およびゲインを調整するカメラの露出モードにはさまざまなオプションがあります。[Settings > Image > Exposure (設定 > 画像 > 露出)] に移動し、以下の露出モードから選択します。

- ・ ほとんどの用途では、[Automatic (自動)] 露出を選択します。
- ・ すべてのパラメーターを完全に管理する必要がある場合、主に光量の変化が少ないシーンで有効な [Manual (手動)] を選択します。

#### ナイトモードを使用して低光量下で赤外線照明からメリットを得る方法

日中、カメラは可視光を利用してカラー画像を提供します。照度が下がるにつれて、カメラが自動的にナイトモードに切り替わるように設定できます。ナイトモードでは、カメラは可視光と近赤外光の両方を利用して白黒画像を提供します。カメラはより多くの利用可能な光を利用するため、より明るく精細な画像を提供できます。

1. [Settings > Image > Day and night (設定 > 画像 > デイナイト)] の順に移動し、[IR cut filter (IRカットフィルター)] が [Auto (自動)] に設定されていることを確認します。



# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

2. カメラがナイトモードに切り替わる光量レベルを設定するには、[Day-night shift priority (デイナイトの切り替え優先度)]を [Day (デイ)]、[Night (ナイト)]、または [None (なし)] に設定します。

### 低光量下でノイズを減らす方法

低光量の条件下でノイズを少なくするために、以下のうち1つ以上の設定を調整することができます。

- ・ 露出モードが自動的に設定されていることを確認する。

#### 注意

最大シャッター値を上げると、動きによる画像のブレが生じる場合があります。

- ・ シャッター速度はできるだけ低速にする。つまり、最大シャッター値はできるだけ高い値に設定する必要があります。
- ・ 画像のシャープネスを下げる。
- ・ 最大ゲイン値を小さくします。

### 最大限に詳細な画像を撮影する方法

#### 重要

最大限に詳細な画像を撮影すると、ビットレートが増加するため、フレームレートが減少する場合があります。

- ・ 解像度が最大のキャプチャーモードを選択したことを確認してください。
- ・ 圧縮率はできるだけ低く設定します。
- ・ MJPEGストリーミングを選択します。
- ・ Zipstream機能をオフにします。

### 逆光の強いシーンの処理方法

ダイナミックレンジとは、画像内の明るさのレベルの差のことです。最も暗い部分と最も明るい部分の差がかなり大きい場合があります。その場合、暗い部分が明るい部分の画像だけが見えることがよくあります。ワイドダイナミックレンジ (WDR) を使用すると、画像の暗い部分と明るい部分の両方が見えるようになります。

1. [Settings > Image (設定 > 画像)] に移動します。
2. [Wide dynamic range (ワイドダイナミックレンジ)] でWDRをオンにします。



WDRを使用していない画像。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定



WDRを使用している画像。

### 注意

WDRを使用すると、画像にノイズが発生することがあります。

WDRとその使用方法の詳細については、[axis.com/web-articles/wdr](http://axis.com/web-articles/wdr)をご覧ください。

## 揺れる映像を電子動体ブレ補正 (EIS) によって安定させる方法

EISは、風が当たる場所や車が往来する場所など、露出した場所に本製品が設置されており、本製品が振動する環境で使用することができます。EISをオンにすると、ブレがなく、よりスムーズで安定した映像が表示されます。

また、EISを使用すると圧縮された画像のファイルサイズが削減され、ビデオストリームのビットレートも低くなります。

### 注意

EISがオンのときは、画像がわずかにクリッピングされ、最大解像度が低くなります。

1. [Settings > Image (設定 > 画像)] に移動します。
2. [EIS] をオンにします。

## オーバーレイ

### オーバーレイについて

オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。オーバーレイは、タイムスタンプなどの録画時の補足情報や、製品のインストール時および設定時の補足情報を表示するために使用します。

### カメラが動きを検知したときにテキストオーバーレイを表示する方法

この例では、カメラが動きを検知したときに「動体検知」というテキストを表示する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. [Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection] に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
3. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

オーバーレイテキストの追加:

4. [Settings > Overlay (設定 > オーバーレイ)] に移動します。
5. [Create overlay (オーバーレイを作成する)] を選択し、[Text (テキスト)] オーバーレイを確認します。
6. テキストフィールドに「#D」と入力します。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

---

7. 位置、テキストサイズ、および外観を選択します。
8. オーバレイテキストを **[Include (含める)]** を選択します。

アクションルールの作成:

9. **[System > Events (システム > イベント)] > [Action rules (アクションルール)]** の順に移動します。
10. AXIS Video Motion Detectionをトリガーにするアクションルールを作成します。
11. アクションのリストから、**[Overlay text (オーバーレイテキスト)]** を選択します。
12. 「動体検知」と入力します。
13. 期間を設定します。

### 注意

オーバーレイテキストを更新すると、自動的にすべてのビデオストリームでテキストが動的に更新されます。

## パン位置またはチルト位置をテキストオーバーレイとして表示する方法

録画されたビデオなどから、イベントが発生したパン位置またはチルト位置(度)を取得することが役に立つ場合があります。これは、いわゆる修飾子を使用して、画像内の位置をオーバーレイテキストとして含めることで取得できます。

1. **[Settings > Overlay (設定 > オーバーレイ)]** に移動します。
2. パン位置を表示するには、テキストフィールドに「#x」と入力します。  
チルト位置を表示するには、「#y」と入力します。
3. 位置、テキストサイズ、および外観を選択します。
4. オーバレイテキストを **[Include (含める)]** を選択します。
5. 現在のパンおよびチルト位置がライブビュー画像と録画に表示されます。

## PTZ (パン、チルト、ズーム)

### パン、チルト、およびズーム動作を制限する方法

この例では、アパートに隣接する駐車場をカメラで監視します。居住者のプライバシーを確保するために、パン、チルト、およびズームの制限を設定します。

パン、チルト、およびズーム動作を制限するには、**[Settings > PTZ (設定 > PTZ)] > [Limits (制限)]** の順に移動します。

## ストリーミングとストレージ

### ビデオ圧縮フォーマットの選択方法

使用する圧縮方式は、表示要件とネットワークのプロパティに基づいて決定します。以下から選択を行うことができます。

#### Motion JPEG

Motion JPEGまたはMJPEGは、個々のJPEG画像の連続で構成されたデジタルビデオシーケンスです。これらの画像は、十分なレートで表示、更新されることで、連続的に更新される動きを表示するストリームが作成されます。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

人間の目に動画として認識されるためには、1秒間に16以上の画像を表示するフレームレートが必要になります。フルモーションビデオは、1秒間に30フレーム (NTSC) または25フレーム (PAL) で動画と認識されます。

Motion JPEGストリームは、かなりの帯域幅を消費しますが、画質に優れ、ストリームに含まれるすべての画像にアクセスできます。

### H.264 または MPEG-4 Part 10/AVC

#### 注意

H.264はライセンスされた技術です。本製品には、H.264閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

H.264を使用すると、画質を損なうことなく、デジタル映像ファイルのサイズを削減でき、Motion JPEG形式の場合と比較すると80%以上、MPEG-4標準規格と比較すると50%以上を削減できます。そのため、ビデオファイルに必要なネットワーク帯域幅やストレージ容量が少なくなります。また、別の見方をすれば、より優れた映像品質が同じビットレートで得られることとなります。

### 帯域幅とストレージ容量を削減する方法

#### 重要

帯域幅を削減すると、画像の詳細度が失われる可能性があります。

1. ライブビューに移動し、[H.264] を選択します。
2. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動します。
3. 以下の操作を1つ以上実行します。
  - Zipstream機能をオンにし、希望のレベルを選択する。
  - ダイナミックGOPをオンにし、GOP長を高い値に設定する。
  - 圧縮度を増やす。
  - ダイナミックFPSをオンにする。

### ネットワークストレージの設定方法

ネットワーク上に録画を保存するには、以下のようにネットワークストレージを設定する必要があります。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Storage (ストレージ)] の順に移動します。
2. [Network storage (ネットワークストレージ)] の [Setup (設定)] をクリックします。
3. ホストサーバーのIPアドレスを入力します。
4. ホストサーバー上の共有場所の名前を入力します。
5. 共有にログインが必要な場合はスイッチを移動し、ユーザー名とパスワードを入力します。
6. [Connect (接続)] をクリックします。

### 録画に音声を追加する方法

#### 注意

本製品に音声デバイスを接続するには、マルチケーブルが必要です。

録画に使用するストリームプロファイルを編集します。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Stream profiles (ストリームプロファイル)] の順に移動します。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

---

2. ストリームプロファイルを選択し、[Modify (変更)] をクリックします。
3. [Audio (音声)] タブで、[Audio stream (音声ストリーム)] チェックボックスを選択し、ドロップダウンリストから [On (オン)] を選択します。
4. [Ok] をクリックします。

### ビデオを録画して見る方法

ビデオを録画するには、まずネットワークストレージを設定するか(「12ページのネットワークストレージの設定方法」参照)、SDカードを挿入する必要があります。

1. カメラのライブビューを表示します。
2. [Record (録画)] を一度クリックすると録画が開始され、もう一度クリックすると録画が停止されます。

録画を表示するには

1. [Storage > Go to recordings (ストレージ > 録画を表示)] をクリックします。
2. リストの録画を選択すると、その録画が自動的に再生されます。

## イベント

### イベントについて

イベントページでは、さまざまなイベントが発生したときに本製品がアクションを実行するように設定できます。たとえば、動きが検知されたときに録画を開始したり、メール通知を送信したりできます。いつどのようにアクションをトリガーするかを定義した一連の条件をアクションルールと呼びます。

### アクションをトリガーする方法

1. [Settings > System > Events (設定 > システム > イベント)] に移動し、アクションルールを設定します。アクションルールによって、カメラが一定のアクションを実行するタイミングを定義します。アクションルールは、スケジュール、繰り返し、または動体検知によるトリガーなどを利用して設定できます。
2. アクションをトリガーする条件となるトリガーを選択します。アクションルールに複数のトリガーを指定した場合、すべてのトリガーが満たされたときにアクションがトリガーされます。
3. 条件が満たされたときに、カメラが実行するアクションを選択します。

#### 注意

アクティブなアクションルールを変更する場合は、アクションルールを再起動して変更内容を有効にする必要があります。

### カメラが動きを検知したときにビデオを録画する方法

この例では、カメラが動きを検知する5秒前にSDカードへの録画を開始し、1分後に停止するようにカメラを設定する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. [Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection] に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
3. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

アクションルールの作成:

4. [設定 > システム > イベント] に移動し、アクションルールを追加します。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

---

5. アクションルールの名前を入力します。
6. トリガーのリストから **[Applications (アプリケーション)]** を選択し、**[AXIS Video Motion Detection (VMD)]** を選択します。
7. アクションのリストから、**[Record video (ビデオを録画する)]** を選択します。
8. 既存のストリームプロファイルを選択するか、新しいプロファイルを作成します。
9. プリトリガー時間を5秒に設定します。
10. ポストトリガー時間を60秒に設定します。
11. ストレージオプションのリストから、**[SD card (SDカード)]** を選択します。
12. **[Ok]** をクリックします。

### カメラが動きを検知したときにカメラをプリセットポジションに向ける方法

この例では、画像内の動きを検知したときにプリセットポジションに移動するようにカメラを設定する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. **[Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection]** に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
3. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

プリセットポジションの追加:

4. **[Settings > PTZ (設定 > PTZ)]** に移動し、プリセットポジションを作成して、カメラを向ける場所を設定します。

アクションルールの作成:

5. **[Settings > System (設定 > システム)] > [Events > Action rules (イベント > アクションルール)]** の順に移動し、アクションルールを追加します。
6. アクションルールの名前を入力します。
7. トリガーのリストから **[Applications (アプリケーション)]** を選択し、**[AXIS Video Motion Detection (VMD)]** を選択します。
8. アクションのリストから **[PTZ Control (PTZコントロール)]** を選択し、**[Preset Position (プリセットポジション)]** を選択します。
9. カメラの移動先のプリセットポジションを選択します。
10. **[Ok]** をクリックします。

### カメラが音量の大きいノイズを検知したときにビデオを録画する方法

この例では、カメラが音量の大きいノイズを検知する5秒前にSDカードへの録画を開始し、1分後に停止するようにカメラを設定する方法を示します。

音声が入っていることの確認:

1. 音声を含めるようにストリームプロファイルを設定します (12ページの録画に音声を追加する方法参照)。

音声検知が設定されていることの確認:

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

---

2. [Settings > System > Detectors > Audio detection (設定 > システム > 検知 > 音声検知)] の順に移動します。
3. 必要に応じて、アラームレベルを調整します。

アクションルールの作成:

4. [設定 > システム > イベント] に移動し、アクションルールを追加します。
5. アクションルールの名前を入力します。
6. トリガーのリストから [Detectors (検知)] を選択し、[Audio Detection (音声検知)] を選択します。
7. アクションのリストから [Record video (ビデオを録画する)] を選択し、[Preset Position (プリセットポジション)] を選択します。
8. 音声が入った場合のストリームプロファイルを選択するか、新しいプロファイルを作成します。
9. プリトリガー時間を5秒に設定します。
10. ポストトリガー時間を60秒に設定します。
11. ストレージオプションのリストから、[SD card (SDカード)] を選択します。
12. [Ok] をクリックします。

### ゲートキーパーで特定のエリアに自動的にズームインする方法

ここでは、ゲートキーパーの機能を使用して、ゲートを通る車のナンバープレートにカメラを自動的にズームインする方法について説明します。車が通過すると、カメラはズームアウトしてホームポジションに戻ります。

プリセットポジションの作成:

1. [設定 > PTZ > プリセットポジション] に移動します。
2. ゲートの入口を含むホームポジションを作成します。
3. ナンバープレートが現れる位置と想定される画像中のエリアをカバーできるように、ズームインプリセットポジションを作成します。

動体検知プロファイルを作成します。

4. [設定 > アプリ] に移動し、[AXIS Video Motion Detection] を開きます。
5. ゲートの入口をカバーするプロファイルを作成して、プロファイルを保存します。

アクションルールの作成:

6. [設定 > システム > イベント] に移動し、アクションルールを追加します。
7. ゲートキーパーアクションルールに名前を付けます。
8. [トリガー] リストから [アプリケーション] を選択し、先ほど作成した動体検知プロファイルを選択します。
9. [アクション] リストから、先ほど作成したプリセットポジションを選択します。
10. [OK] をクリックします。

### カメラが衝撃を検知したときにビデオを録画する方法

衝撃検知機能を利用すると、カメラは振動または衝撃によるいたづらを検知することができます。衝撃感度 (0~100に設定可能) に応じて、環境または物体に起因する振動でアクションをトリガーすることができます。このシナリオでは、就労時間外にカメラに投石されたときに、そのイベントのビデオクリップを受け取ることができます。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 設定

---

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Detectors (検知)] の順に移動します。
2. 衝撃検知を有効にし、衝撃感度の値を設定します。
3. [Save (保存)] をクリックします。

アクションルールの作成:

4. [設定 > システム > イベント] に移動し、アクションルールを追加します。
5. アクションルールの名前を入力します。
6. トリガーのリストから [Detectors (検知)] を選択し、[Shock detection (衝撃検知)] を選択します。
7. スケジュールのリストから、[After Hours (就労時間外)] を選択します。
8. アクションのリストから、[Send Video Clip (ビデオクリップの送信)] を選択します。
9. 既存のストリームプロファイルを選択するか、新しいプロファイルを作成します。
10. プリトリガー時間を5秒に設定します。
11. ポストトリガー時間を60秒に設定します。
12. 既存の送信先を選択するか、新しい送信先を作成します。
13. [Ok] をクリックします。

## アプリケーション

### アプリケーションについて

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、[axis.com/applications](https://axis.com/applications)を参照してください。

Axisアプリケーションのユーザーズマニュアルについては、[axis.com](https://axis.com)を参照してください。

#### 注意

- 同時に複数のアプリケーションを実行することも可能ですが、中には互換性のないアプリケーションもあります。アプリケーションの特定の組み合わせによっては、並行して実行すると過度の処理能力やメモリーリソースが必要になる場合があります。アプリケーションを展開する前に、同時に実行できることを確認してください。



# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## トラブルシューティング

---

### トラブルシューティング

このページで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](https://axis.com/support)のセクションに記載されているトラブルシューティングを行ってください。

### 工場出荷時の設定にリセットする方法

#### 重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順を実行します。


1. ステータスLEDが黄色に点滅するまで、コントロールボタンと電源ボタンを押し続けます (15~30秒間)。3 ページの、[製品の概要](#)を参照してください。
2. 再起動ボタンだけを離し、コントロールボタンをステータスLEDが緑色に変わるまで押し続けます。
3. 電源ボタンを離し、製品を組み立てます。
4. プロセスは完了です。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。ネットワーク上に利用可能なDHCPサーバーがない場合、デフォルトのIPアドレスは192.168.0.90になります。
5. インストールおよび管理ソフトウェアツールを使用してIPアドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行います。

Webインターフェースを使用して、各種パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。**Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)** を選択し、**Default (デフォルト)** をクリックします。

### 現在のファームウェアの確認方法

ファームウェアは、ネットワークデバイスの機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際には、まず、現在のファームウェアバージョンを確認してください。最新バージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。

現在のファームウェアを確認するには:

1. 本製品のWebページに移動します。
2. ヘルプメニューをクリックします。 
3. **[About (バージョン情報)]** をクリックします。

### ファームウェアのアップグレード方法

#### 重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、(その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)、ファームウェアのアップグレード時に保存されます。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

#### 重要

アップグレード中は、インストールの失敗を避けるためにカバーが取り付けられていることを確認します。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## トラブルシューティング

### 重要

アップグレードプロセス中は、本製品を電源に接続したままにしてください。

### 注意

最新のファームウェアをダウンロードして製品をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、[axis.com/support/firmware](http://axis.com/support/firmware)を参照してください。

1. 最新のファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルは [www.axis.com/support/firmware](http://www.axis.com/support/firmware) から無料で入手できます。
2. 製品に管理者としてログインします。
3. [Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)] の順に移動します。ページの指示に従います。アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

複数のアップグレードを行う場合は、AXIS Device Managerを使用できます。詳細については、[axis.com/products/axis-device-manager](http://axis.com/products/axis-device-manager)をご覧ください。

## 技術的な問題、ヒント、解決策

このページで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](http://axis.com/support)のセクションに記載されているトラブルシューティングを行ってください。

### ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

ファームウェアのアップグレード失敗	ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、製品は以前のファームウェアを再度読み込みます。不正なファームウェアファイルがアップロードされていることが最もよくある原因です。製品に対応したファームウェアファイル名であることを確認し、再試行してください。
-------------------	---

### IPアドレスの設定で問題が発生する

本製品が別のサブネット上にある	本製品用のIPアドレスと本製品へのアクセスに使用するコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定できません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。
-----------------	---

IPアドレスが別のデバイスで使用されている	本製品をネットワークから切断します。pingコマンドを実行します (コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドと製品のIPアドレスを入力します)。
-----------------------	--

- もし、「Reply from <本製品のIPアドレス>: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでIPアドレスがすでに使用中の可能性がります。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、本製品を再度インストールしてください。
- もし、「Request timed out」が表示された場合は、本製品でそのIPアドレスを使用できます。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、本製品を再度インストールしてください。

同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある	DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、本製品の静的IPアドレスが使用されます。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別のデバイスでも使用されていると、本製品のアクセスに問題が発生する可能性があります。
-------------------------------------	--

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## トラブルシューティング

---

### ブラウザから本製品にアクセスできない

---

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| ログインできない              | HTTPSが有効な場合は、正しいプロトコル(HTTPまたはHTTPS)を使用してログインしてください。ブラウザのアドレスフィールドに、手動で「http」または「https」と入力する必要がある場合があります。<br><br>rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、製品を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。17ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。  |
| DHCPによってIPアドレスが変更された  | DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用して本製品のネットワーク上の場所を特定してください。本製品のモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名(設定されている場合)を使用して製品を識別します。<br><br>必要に応じて、静的IPアドレスを手動で割り当てることができます。手順については、 <a href="http://axis.com/support">axis.com/support</a> を参照 |
| IEEE 802.1X使用時の証明書エラー | 認証を正しく行うには、本製品の日付と時刻をNTPサーバーと同期させなければなりません。[Settings > System > Date and time (設定 > システム > 日付と時刻)]の順に移動します。  |

### 本製品にローカルにアクセスできるが、外部からアクセスできない

---

- |               |   |
|---------------|---|
| ルーターの設定       | ルーターでAxis製品への着信データトラフィックが許可されているか確認してください。ルーターはUPnP®に対応している必要があります。 |
| ファイアウォールによる保護 | インターネットのファイアウォールについて、ネットワーク管理者に確認してください。                            |

### ストリーミングの問題

---

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| ローカルクライアントしかマルチキャストH.264にアクセスできない | ルーターがマルチキャストをサポートしているかどうか、またはクライアントと本製品間のルーター設定を行う必要があるかどうかを確認してください。TTL (Time To Live) 値を上げる必要がある場合もあります。 |
| H.264のマルチキャスト画像がクライアントで表示されない     | Axis製品で使用されたマルチキャストアドレスが有効かどうか、ネットワーク管理者に確認してください。<br><br>ファイアウォールが表示を妨げていないかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。       |
| H.264画像のレンダリング品質が悪い               | グラフィックカードで最新のデバイスドライバーが使用されていることを確認してください。最新のドライバーは、通常、メーカーのWebサイトからダウンロードできます。                            |

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## トラブルシューティング

彩度がH.264とMotion JPEGで異なる

グラフィックアダプターの設定を変更します。詳細については、グラフィックカードのマニュアルページに移動してください。

フレームレートが予想したレートより低い

- 20ページのパフォーマンスに関する一般的な検討事項を参照してください。
- クライアントコンピュータで実行されているアプリケーションの数を減らします。
- 同時閲覧者の数を制限します。
- 使用可能な帯域幅が十分かどうか、ネットワーク管理者に確認します。
- 画像の解像度を下げます。
- 本製品のWebページにログインし、フレームレートを優先するキャプチャーモードを設定します。フレームレートを優先するようにキャプチャーモードを変更すると、使用する製品や利用可能なキャプチャーモードによっては、最大解像度が低下することがあります。
- 本製品の周波数 (60/50 Hz) によって、最大フレーム/秒は異なります。

## パフォーマンスに関する一般的な検討事項

システムを設定する際には、さまざまな設定や条件がシステムのパフォーマンスにどのように影響するかを検討することが重要です。ある要因は必要な帯域幅の量 (ビットレート) に影響し、他の要因はフレームレートに影響し、帯域幅とフレームレートの両方に影響する事柄もあります。CPUの負荷が最大に達した場合も、フレームレートに影響を及ぼします。

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- 画像解像度が高い、または圧縮レベルが低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- レンズを手動で回転させると、GUIから画像を回転させるときより高いパフォーマンスが得られます。
- カバーを取り外したり取り付けたりすると、カメラが再起動します。
- Motion JPEGまたはユニキャストH.264を使用するクライアントのアクセス数が多すぎると帯域幅に影響を及ぼします。
- 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。  
フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームを同一に揃えることができます。
- Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- インフラストラクチャーが貧弱なネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- パフォーマンスの低いクライアントコンピュータで閲覧すると感知するパフォーマンスが低くなり、フレームレートに影響します。
- 複数のAXIS Camera Application Platform (ACAP) アプリケーションを同時に実行すると、フレームレートと一般的なパフォーマンスに影響する場合があります。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 仕様

### 仕様

最新バージョンの製品のデータシートについては、[axis.com](http://axis.com)で本製品のページを開いて「Support & Documentation (サポートとドキュメント)」へお進みください。

### LEDインジケータ

ステータスLED	説明
無点灯	接続時と正常動作時は、無点灯のままです。
緑	起動後正常に動作する場合、10秒間、緑色に点灯します。
黄	起動時に点灯し、ファームウェアのアップグレード時と工場出荷時設定へのリセット時に点滅します。
黄/赤	ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、黄色/赤色で点滅します。


### SDカードスロット

#### 注記

- SDカード損傷の危険があります。SDカードの挿入と取り外しの際には、鋭利な工具や金属性の物を使用したり、過剰な力をかけたりしないでください。カードの挿入や取り外しは指で行ってください。
- データ損失や録画データ破損の危険があります。本製品の稼働中はSDカードを取り外さないでください。取り外しの前に、製品のWebページからSDカードをマウント解除してください。

本製品は、SD/SDHC/SDXCカードに対応しています。

推奨するSDカードについては、[axis.com](http://axis.com)を参照してください

 SD、SDHC、およびSDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。SD、SDHC、SDXCは、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。

## ボタン

### コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。17ページの工場出荷時の設定にリセットする方法を参照してください。
- AXIS Video Hosting Systemサービスに接続する。接続するには、ステータスLEDが緑色に点滅するまで約3秒間ボタンを押し続けます。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 仕様

### 電源ボタン

ドームカバーを取り外したとき、製品の電源を一時的に入れるには、電源ボタンを押し続けます。電源ボタンとコントロールボタンを同時に押すと、カメラが工場出荷時の設定にリセットされます。17ページを参照してください。

### コネクタ

#### ネットワークコネクタ

RJ45イーサネットコネクタ、Power over Ethernet Plus (PoE+) 対応。

#### 注記

付属のミッドスパンを使用します。

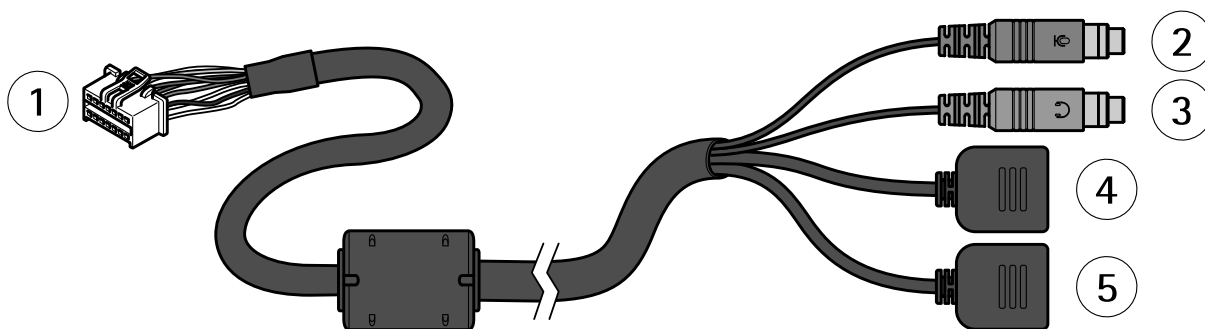
#### マルチコネクタ

以下の外部装置を接続するターミナルコネクタ:

- ・ 音声装置
- ・ 入出力 (I/O) デバイス
- ・ AC/DC電源

外部装置を接続する場合、本製品のIP定格を維持するため、別売のAxisマルチケーブルが必要になります。詳細については、22ページのマルチケーブルコネクタを参照してください。

#### マルチケーブルコネクタ



#### マルチケーブルの概要

- 1 カメラマルチコネクタ
- 2 音声入力 (ピンク)
- 3 音声出力 (緑)
- 4 電源コネクタ、3ピン
- 5 I/Oターミナルブロック、6ピン

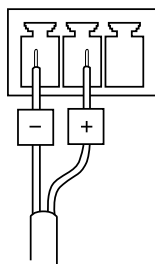
マルチケーブルには、以下のコネクタがあります。

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

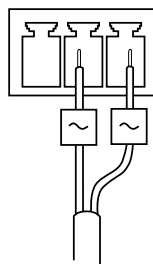
## 仕様

**電源コネクタ** - 電源入力用3ピンターミナルブロック。定格出力が100 W以下または5 A以下の安全特別低電圧 (SELV) に準拠した有限電源 (LPS) を使用してください。

DC電源入力



AC電源入力

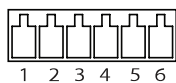


**音声入力 (ピンク)** - モノラルマイクロフォンまたはラインインモノラル信号用 (左チャンネルはステレオ信号で使用) 3.5 mm入力。

**音声出力 (緑)** - 3.5 mm音声 (ラインレベル) 出力 (パブリックアドレス (PA) システムまたはアンプ内蔵アクティブスピーカーに接続可能)。音声出力には、ステレオコネクタを使用する必要があります。

**I/Oターミナルコネクタ** - 外部装置を接続し、カメラに対するいたずらの警報、動体検知、イベントトリガー、アラーム通知などを使用することができます。I/Oコネクタは、0 V DC基準点と電力 (DC出力) に加えて、以下のインターフェースを提供します。

- デジタル出力 - リレーやLEDなどの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースまたは製品のWebページから有効にすることができます。
- デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能な外部デバイス (PIR検知器、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。

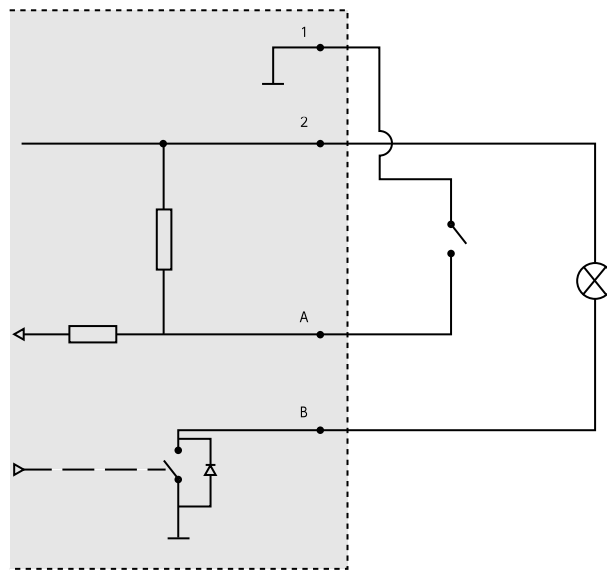


機能	ピン	備考	仕様
0 V DC (-)	1		
DC出力	2	補助装置の電源供給に使用できます。 注: このピンは、電源出力としてのみ使用できません。	3.3 V DC 最大負荷 = 250 mA

# AXIS Q6054 Mk III PTZ Network Camera

## 仕様

設定可能 (入力または出力)	3-6	デジタル入力 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。	0~40 V DC (最大)
		デジタル出力 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。誘導負荷 (例: リレー) とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、ダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	0~40 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA



- 1 0 V DC (-)
- 2 DC出力3.3 V、最大250 mA
- A I/O (入力として設定)
- B I/O (出力として設定)



